



福地中学校

自主・協同の心で努力する福中生

— 「ふるさとの幸福」のためにコミュニティ・デザインをする人を目指して—

本校では、平成30年度より西尾市教育委員会の研究委嘱を受け、研究主題を「自己有用感が高まる福中生を目指して」として研究を進めてきました。

自己有用感を、「他者から必要とされたり、他者の役に立てたりしたという感情」ととらえ、自己有用感の高い生徒が共通してもっている、「進んで課題解決に取り組む」、「積極的に仲間と関わる」、「仲間とともに考えを深める喜びを感じる」という特長を伸ばす授業実践を進めています。

<目指す生徒像>

進んで仲間と関わりながら課題解決に取り組み、考えを深める中で、自己有用感を高める生徒



「進んで課題解決に取り組む」「積極的に仲間と関わる」「仲間とともに考えを深める喜びを感じる」

令和3年10月21日(木)の研究発表会の後は、「『ふるさとの幸福』のためにコミュニティ・デザインをする人」を目指して、地域と連携・協同した学校教育活動を展開していきます。

<目指す人間像>

自己有用感をもって「福地の人・もの・こと」にはたらきかけ、「ふるさと」の未来を描く人

(具体的な活動)

1 「地域を学ぶ学習」・「地域で学ぶ学習」の展開

総合的な学習の時間「Lifework Project(ライフワーク・プロジェクト)」



2年・公立高校訪問サイクリング、地域の達人から学ぶ会 1年・学年プロジェクト in こどもの国

2 地域と連携・協働した活動「Community Network(コミュニティ・ネットワーク)」の展開



ふれあい資源回収「パック・キャップ大作戦」 花の苗 植え替えボランティア